



移送サービス事業の

国から世田谷区への移譲について

理事長 隅 一 清

福祉有償運送事業は、ご承知の如く、現在国土交通省の管轄下にあります。

昨年五月に法が改正され、地域の自主性、自立性を高める為に、「家用有償旅客運送」の事務、権限について、移譲を希望する自治体があれば、移譲できることになりました。それについての説明会が先日、世田谷区役所内で開かれました。

今現在、二十三区内で、移譲に手を上げている処は、世田谷区と江東区の二区だけのことです。江東区には、現在、移送サービスを行っているNPO団体はないそうです。

移送サービス団体がある中野区や練馬区も移譲は希望しないそうです。

今後二十七年途中で、何回かの説明会を開き、区としての対応を検討していくことになるそうです。ここで一番問題になる点は、福祉有償運送事業の登録、更新等の際に必要な書類の多さや、複雑さです。

この事業は、バスやタクシー事業者と同様の扱いなので、基準も厳しく、事務手続きが煩雑で、事務量の増加が移譲を希望しない区が多い最大の理由だと思います。

全国的に見ても、平成二十三年から二十五年までの三年間は、新規登録団体（年間約一五〇件）と、登録を抹消する団体と同数に近いとのことです。過疎地の



移動手段や、親しい仲間達との集い等から始まったボランティア移送が、家用有償旅客運送という名のもとに法で規制されて運営しています。二十七年以降、区に移譲されたら、メリットは何かという質問に対して、区の返答は別に何もありません、とのことでした。

今まで通り、国土交通省の職員やタクシー会社の関係者を交えての運営協議会も行おうし、三年に一度の更新手続きも、膨大な資料提出もそのままか・・・強いて言えば、国交省に提出していた資料のコピーがなくなるので、コピー代が助かる位です。

世田谷移動ケアそとでの鬼塚さんが、隅さんは移譲についてどうですかと聞かれたのですが、私は、世田谷区は早くから福祉有償運送について

前向きで、特区まで取得したのだから、今はメリットがなくても、二十三区の先陣を切って、移譲を受けるべきだと答えました。

一歩前進すること、そこからまた新しい展開が開けてくるかもしれないので・・・

区としては、移譲による事務費の増加や事業所の立入検査等による人員不足等で、あまりメリットがないので、手を上げない方向にしたという考えでした。

何はともあれ、今後も国と市区町村との話し合いが続けられ、法改正も出てくるので、どんな結果になるか、我々としては、見守る必要があると思います。



堀之内千代さんのこと

菅野孝夫

隅さんから電話があつて、何か書けと言われたのであるが、何を書いたらいいか迷っているうちに、一月の末までという約束の日も過ぎてしまった。とにかくパソコンに向かって、ここまで書いたら、千代さんの事を書きたくなつた。

堀之内千代さんが俳句を始めたのは八十七歳のときで、忘れもしない、初めての句会が東日本大震災の日であつた。突然ぐらぐらときて、これは大変なことになると思った。痩せても枯れても若い？男性は私だけである。

万が一の時にはみんなを背負つてやろうと覚悟を決めたのだが、不幸中の幸いで、下馬地区会館の半分地下になつた会場は何事もなかつた。

千代さんは、とにかく若い。見た目もそうだが精神はもつと若々しい。さすがに最近杖の助けをかりるようになったが、それを恥ずかしがる。心が老人になつていない証拠である。

千代さんの明るさは生来のものかもしれないが、ほどほどの自尊心と好奇心、知性のひらめきとおしゃれなところ、それらが醸し出す雰囲気はまわりの人たちを柔らかく包んでくれる。

「どうせねえ、死なれないんだから、楽しく生きなくちゃ」とおっしゃる。

今年めでたく、俳句雑誌「野火」の同人に推薦された。二十年がんばつてもなれない人がいる中で、これは異例の早さである。最近こんな句を詠んでいる。

冬牡丹百歳の計立ててをり
枯木にも確かな芽あり百めざす



私などは九十歳まで生きられるかどうか、たぶん無理だとあきらめておられるけれども、この前向きな生き方は立派だと思ふ。

ひまわり句会には、千代さんよりもすごい九十歳の太田和子さんがおり、矢我崎和子さんは八十八歳で、お二人は体調をくずして休んでいるが、太田さんは歌子さんに「俳句はやめないわよ」と、言っているらしい。暖かくなつたら、ぜひまた一緒に俳句を楽しみたいと、みんなが待っている。

千代さんは今や、野火の若い人たちの目標である。

ひまわり句会 菅野孝夫 選

秋の原コンテナ列車光り過ぐ 宮沢みどり

日光の天空階段霧流る

あんぼ柿和紙に包まれ一つづつ

金木屋踏むには惜しく零れつぐ 矢我崎和子

山の秋鷹がひねもす高空に

ひまごの手握る日だまり秋深し

お米屋の隣のパン屋小鳥来る

大谷のり子

電飾のコードあらはに冬阜

寒鳥朝一番の声をあげ

冬日さす庭に小さき冬の葎薇

小田原郁代

霽降る浜の元町石畳

初春の挨拶交すバスの中

多摩川を一色にして草紅葉

亀井 歌子

じつくりと煮込むシチューや冬の雨

血圧の下が高くて冬に入る

新しき茶碗を使ひ福沸し

堀之内千代

初午の正一位なる幟かな

冬牡丹百歳の計立てて居り

しあはせは卓の山盛り蜜柑かな

小松原錦子

精一杯色なき庭の姫椿

しみじみとしみしわしらが初鏡

行事報告

◎早川のみかん狩り

十二月六日（土）

毎年好評のみかん狩りを、今年も行うことになり、マイクロバスをチャーターして、小田原早川にあるみかん山に行ってきました。

このみかん山は、オーナー制度で年間一万円〜一万五千元で、八十キロから一五〇キロ位のみかんが収穫できます。今年のみかんは甘くて、大好評でした。

昼食は、小田原で有名なだるま屋さんで、美味しい昼食を頂きました。

また企画します。

参加者二十四名



◎区民ふれあいフェスタ

十二月七日（日）

今年の区民ふれあいフェスタは、好転に恵まれ、人でも昨年より多く、実行委員としては、ホットしています。

当会では、バザーと作品展の展示をしましたが、大変に好評でした。旅の記念写真も、全員が笑顔で楽しさがいっぱい元気がもたらえる・・・と好評でした。撮ってる人はプロですからネエーツ。



忘年旅行（日帰り）

九十九里太陽の里

十二月十三日（土）

現地からの送迎バスで、九時に野沢を出発して一路、九十九里へ！ 十一時過ぎに「太陽の里」に到着しました。宴会場で昼食を食べてから観劇タイムです。好きな人は？ 舞台の前のカブリつき席へ。観ない人は、バードウォッチングや、日帰り温泉へと分散しました。

芝居が終ると、踊りがあり、四時近くまで楽しんでいましたが、帰りの時間も迫ってきたので、中座してバスに乗り込み、途中、海鮮市場に立ち寄って夕食の買物をして東京へ。

忘年会は、都内でやっても一人五千元はかかります。二、三年前から、近場の温泉で、昼食をかねての忘年旅行にしています。

散策、温泉、美味しい食事、と三拍子揃った場所を探して、今年も企画中です。

参加者 二十七名



大野義夫

クリスマスライブ 十二月十七日（水）

おなじみの大野義夫さんのクリスマスライブが柿の木坂華空間で開かれました。

今回は遠方から来るファンの方いるとのこと、

演奏に花を添える女子舞のメンバーも五人で参加しました。

当会からもファンの方が出席して頂きありがとうございました。



新年会

一月十七日（土）

新年恒例の顔合せ食事が今年も事務所の前の中華レストランで開催されました。

会長の突然の入院で急遽、宇津木氏の進行で加藤先生に乾杯をお願いして開宴しました。

中村さん紹介の韓国のフィソンさんとピアノの伊藤公子さんで席を盛り上げて頂きました。



行事予定

◎四月 日帰りバスハイク

伊豆小室山公園つじ見学

昨春に行った館林公園のつじが見事だったので、第二弾として伊豆小室山のツジを観に行きます。山全体がピンクのジュウタを敷き詰めた様な美しさだそうです。

○日時 四月十九日(日) 野沢発九時
○行程 野沢く東名高速く海老名SA(休)く厚木小田原道路く石橋ICく真鶴く熱海く伊東く小室山公園散策く網代ドライブイン(昼食)く西湘バイパスく横浜く第三京浜く野沢

○会費 一人七千円(バス代、昼食代他)
*自宅く野沢送迎の方は別途一〇〇〇円です。

参加希望の方は三月末までにお申し込み下さい。

◎さくらまつり バザー開催!

例年、梅ヶ丘の総合福祉センターで開催していますさくらまつりバザーを今年もやります。

不用品等ありましたら、ご連絡頂ければ、受け取り参ります。衣類の他に食器類、おもちゃ、本、日用品等、なんでも結構です。

○日時 四月四日(土) 十時く十五時
○場所 梅ヶ丘総合福祉センター
(通称さくらぼーと)

◎五月一泊二日研修旅行

諏訪大社と霧ヶ峰高原の旅!

今年五月の研修旅行は、諏訪湖畔のかんぼの宿に泊って、諏訪大社(下社秋宮)を見学します。七年に一度の御柱祭は、四月下旬に御柱の山出しから始まって、五月上旬の里曳きまで、諏訪の街は観光客で一杯になります。

翌日は霧ヶ峰を抜けて白樺湖に出て、ビーナスラインを経て、横岳のロープウェイに乗って八ヶ岳連峰を望む予定です。何年か前に一度企画して、悪天候で断念したことがあります。今年はずいぶん、好天に恵まれますよう今から念じています。

○日時 五月二十三日(土)く二十四日(日)
○行程 野沢く中央道く談合坂SA(休)く小淵沢く岡谷IC下車く諏訪大社(下社秋宮)見学くかんぼの宿(泊)宿発く霧ヶ峰高原く白樺湖くビーナスラインくピタゴラスの丘く横岳ケーブルく山頂散策く蓼科高原く諏訪ICく中央道く野沢

○会費 一人二万三千円く人数によって多少変更があります。

○申込み 申込みチャリティー協会を使用しますので四月十五日迄にお申し込み下さい。



編集後記

一月十四日の朝、店を開ける準備をしている時に急に胸が苦しくなり、しばらく安静にしていたのですが、良くならないので、ニトロを一粒飲んでから、娘に連絡! 医療センターに電話をしたら、すぐに来るようにとのこと、娘の運転する車で病院へ! 定期検診に行っている循環器科に行き、担当の先生もいたので、すぐに入院となり、そのまま病室へ! 血液検査の結果、心筋梗塞を起こしている、絶対安静とかで、ベッドから降りられず、一週間、採血と心電図と点滴の生活でウンザリ! 八日目にやっとカテーテルで細くなった血管を風船で膨らませてステントを入れ、無事終了! これで三回目のカテーテルとなりました。十日ぶりに帰宅してホットしています。楽しみにしていた? 新年会も参加できず、残念でした。ご迷惑、ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。暴飲暴食をしているわけでもなく、睡眠も九時間とっていますし、規則正しい? 生活をしているのに、何故? と思います。多分、神様がくれた休養と思っています。

S記

「ひまわり通信」75号

編集 特定非営利活動法人 ヒューマンハーバー世田谷

編集責任者 隅一清

住所 世田谷区野沢3-4-18 | 102

TEL 03-3487-5081

FAX 03-3422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会

世田谷区 6-26-21 (定価100円)